

2024年9月6日

通貨ニュース

新興国:グローバル製造業 PMI は 2 か月連続で 50 割れ

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数 (PMI) によれば、8 月製造業 PMI は 49.5 と 7 月 (49.7) から低下し、2 か月連続で中立水準 (= 50) を割り込んだ。先進国 (48.8→48.3) は雇用の悪化などが響き、23 か月連続で中立水準割れを記録。片や、新興国 (50.7→50.8) はまちまちの結果になったものの、19 か月連続で中立水準超えを維持した (図表 1、2)。また、グローバル非製造業 PMI (53.3→53.8) は前月に続き上昇。内訳を確認すると、先進国 (53.5→54.3)、新興国 (53.2→52.8) とまちまちな結果であった。

これらを合わせたコンポジット PMI は 52.8 と前月 (52.5) から上昇し、10 か月連続で中立水準超えを維持。世界の GDP 成長率は 4~6 月期に +2.5% (前期比年率) と、前四半期から伸びが減速した (図表 3)。PMI の推移を確認する限り、7~9 月期は鈍化を継続させていると推察される。

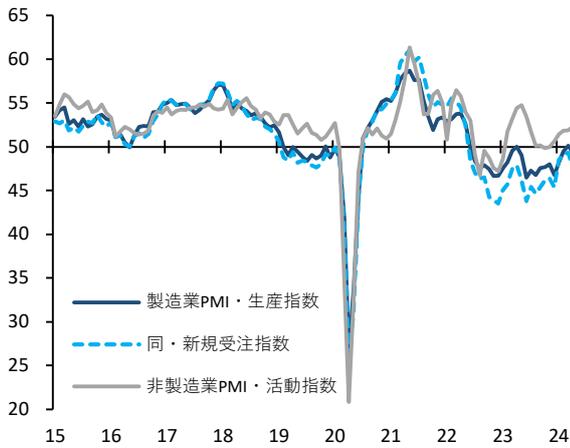
製造業 PMI に関し、グローバルな金融政策動向を占う上で重要な、価格関連の指数を確認したい。仕入れ価格・出荷価格は、8 月にまちまちな結果となったが、前月と比較しそれほど水準に変化はない (図表 4)。今年に入って以降、特に仕入れ価格指数の上昇が目立っていたことは過去の本欄でも指摘したが、7・8 月は落ち着きを取り戻している。需要の低迷、およびここもとの資源価格の低下基調が、財分野のインフレ再燃懸念を後退させているのだろう。年初以降加速した製造業循環の拡大は予想外に短期で終わっており、主要国中銀の利下げによって障害にはならないだろう。

製造業 PMI の構成指数別では、生産・雇用・入荷遅延の 3 項目が PMI の低下に寄与した。生産指数は先進国主導で低下し、8 か月ぶりに中立水準割れを記録 (図表 5)。新規受注はまちまちの結果で、前月に続き中立水準を割り込んでいる (図表 6)。また、雇用は先進国主導で低下、6 か月ぶりに中立水準割れを記録 (図表 7)。加えて、購買品在庫は先進国主導で上昇も、6 か月連続で中立水準を割り込んでいる (図表 8)。生産見通しの停滞が、在庫取り崩しの流れに寄与している。一方で、入荷遅延 (逆インデックス) は 2 か月ぶりに上昇も、3 か月連続で中立水準を割り込んでいる。引き続き、世界的な海運ルートの流れなどを反映している可能性がある。

個別の新興国では、メキシコ製造業 PMI の軟調さに着目したい (図表 23)。8 月分の結果は 48.5 となり、2 年半ぶりの低水準に沈んだ。構成項目を確認すると、新規受注の悪化が目立った。新規輸出受注の悪化も著しく、内外需要の短期的な見通しが悪化していることが示唆される。他方で、通貨安などを受けて仕入れ価格指数は約 2 年ぶりの高水準となっており、メキシコ製造業はコスト高と需要低迷に直面するなど苦しい状態だ。最近の経済指標もやや低調なものが目立っている中で、メキシコ中央銀行 (Banxico) は今月の金融政策決定会合でも ▲25bp の利下げを継続させるだろうが、輸入物価上昇への警戒を解ける状況にはなく、利下げペースの加速は選択されないだろう。

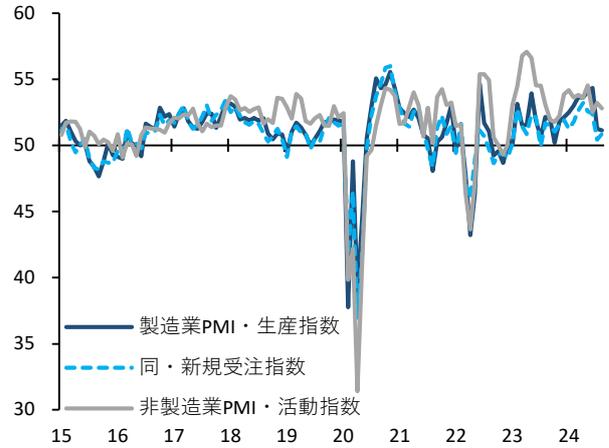
金融市場部
マーケット・エコノミスト
長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



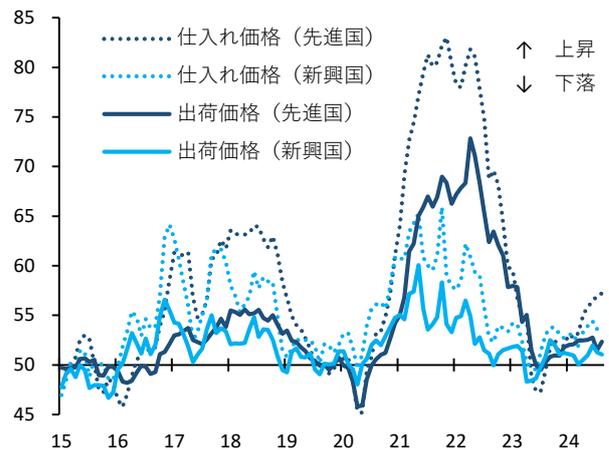
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



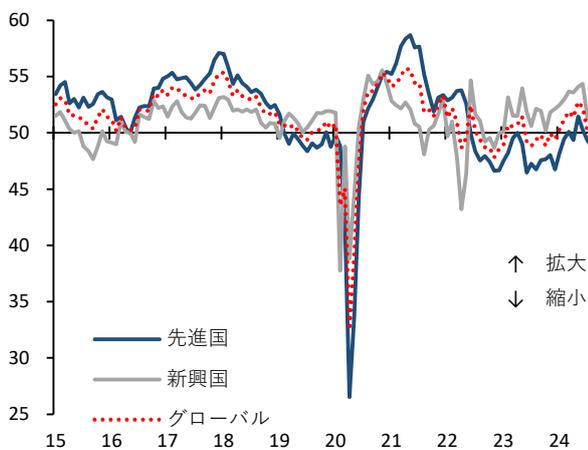
出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・価格指数



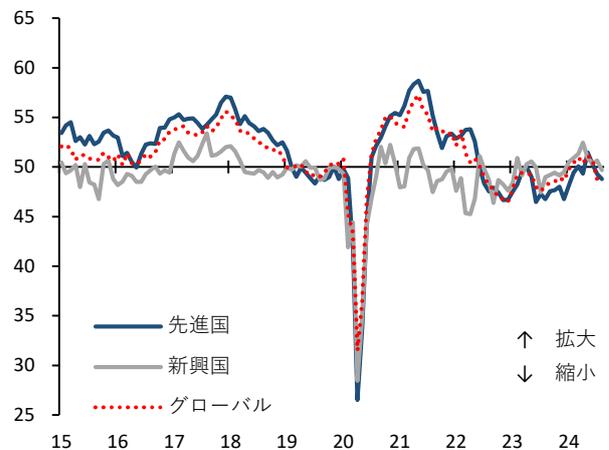
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・生産指数



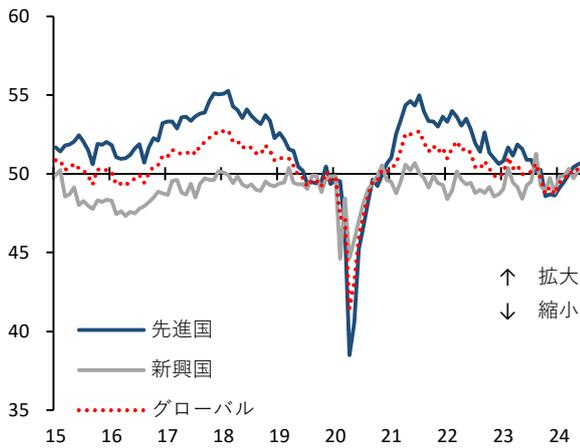
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 製造業 PMI・新規受注指数



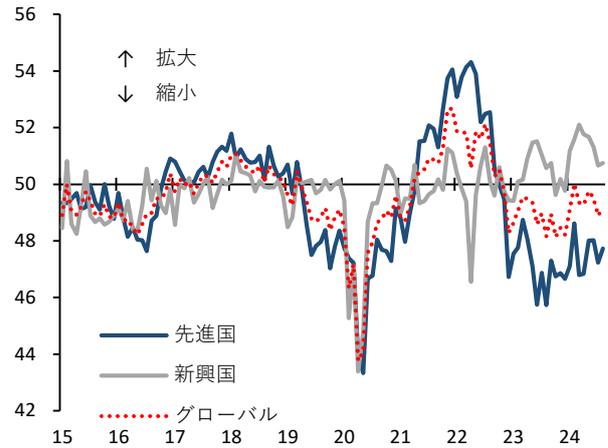
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI・雇用指数



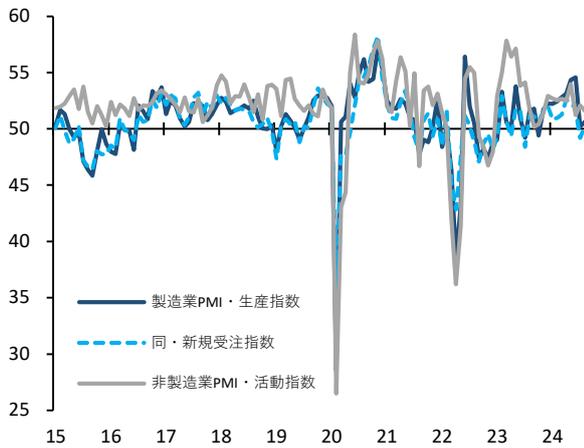
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 製造業 PMI・購買品在庫指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 中国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 香港



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 韓国



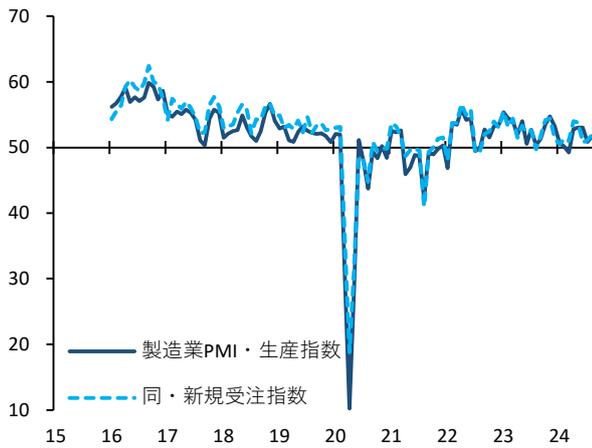
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 12: 台湾



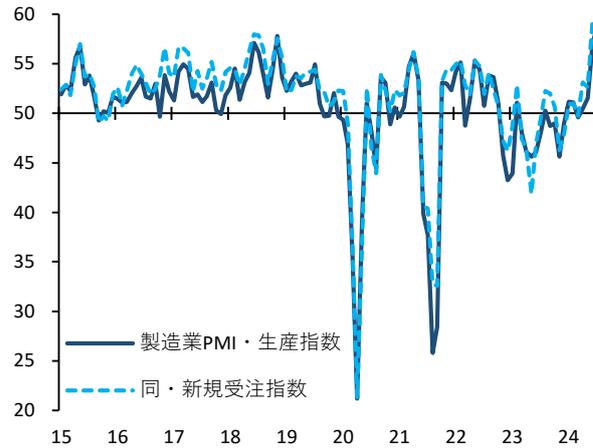
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン



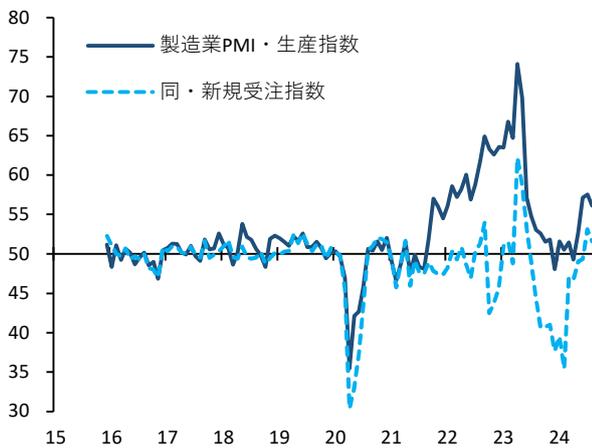
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム



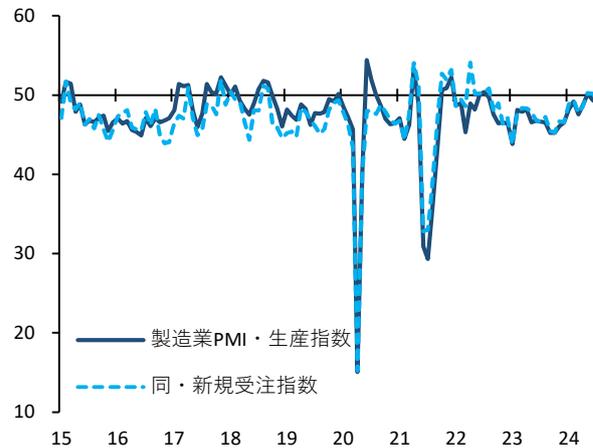
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ



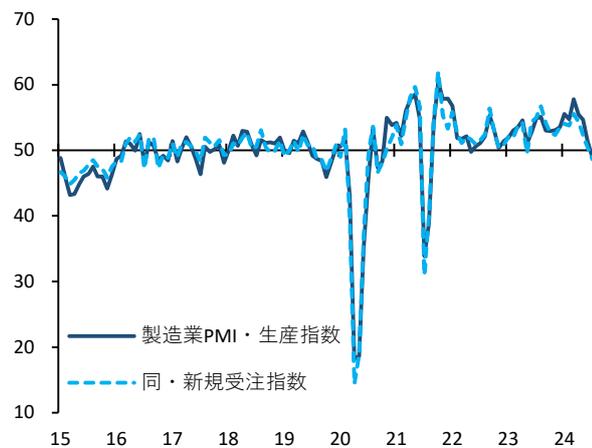
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール



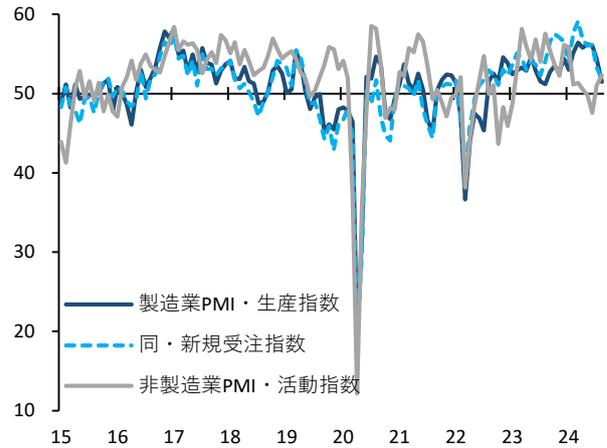
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド



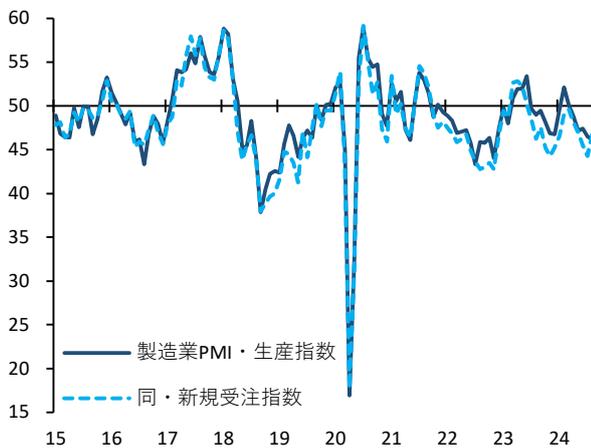
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア



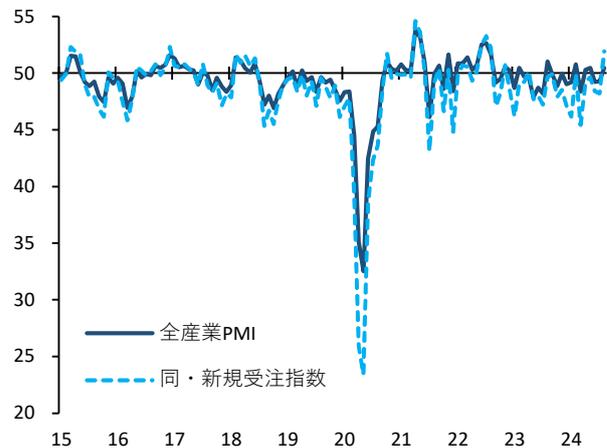
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル



出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。